



川東小だより

第11号

令和4年3月15日

新発田市立

川東小学校

「6年生に感謝する会」

校長 岡崎 功一

二王子山の山頂が太陽に照らされ光り輝くように見える日が多くなってきました。春の訪れを感じます。今年度もあとわずかになりました。6年生は、卒業式と中学校への進学に向けて、1年生から5年生は、進級に向けて、今年度のまとめと来年度への準備をしているところです。

先月25日（金）に『6年生に感謝をする会』を行いました。新型コロナウイルスの感染予防のため、今回は、タブレット端末を使いリモートで行いました。6年生全員と5年生の実行委員が、3階多目的ルームに集まり、そこで行われる『6年生に感謝する会』の様子をタブレット端末で各教室へ配信するという形で行いました。さながらテレビ局の生放送を見るような感じで行いました。

プログラムの内容は、5年生が中心になり考えました。体育館に集まることができないということ、それから、今までにやることがない前例のない行事であったため、5年生の子どもたちも、どんなことができるのか頭を悩ませることが多かったと思います。しかし、自分たちの創意工夫を生かして、6年生への感謝の気持ちがこもった「6年生に感謝する会」を成功させました。

内容を簡単に紹介します。まず、6年生に関するクイズを行いました。5年生が出題して、分かった6年生が挙手して回答します。ただ回答するだけでなく、その回答した本人にインタビューも合わせて行いました。司会の5年生とインタビューを受ける6年生とのやりとりが見てとても微笑ましく、多目的ルームの会場が、笑いで盛り上がりました。とても温かい雰囲気の中で行われました。それから、「くす玉わり」も行いました。6年生全員で、くす玉を割るためのロープをもち、見事に一回できれいに開きました。最後に、6年生が在校生への感謝の言葉を述べました。これらのシーンが、タブレット端末を通してライブ映像で各教室に届けられました。

いつもは、体育館で行われていた『6年生に感謝をする会』でしたが、今回は、タブレット端末を使ったリモート開催でした。在校生の6年生への感謝の気持ちが込められた会となりましたし、「ピンチをチャンスに変える」子どもたちの姿を見ることができました。会が終わってから、5年生と6年生が向かい合い、お互い感謝の言葉を伝えあいました。私もその場にいました。そこには、さわやかな子どもたちの笑顔がありました。

川東小学校の合言葉は、『笑顔あふれる川東小学校』です。これからもこんな学校であり続けたいと思いました。

～ 保護者の皆様、地域の皆様、本年度も川東小学校の教育活動に

ご理解とご協力をいただきありがとうございました ～